

俳句サロン 令和六年

「夏」 五月～七月



ホタルイカ白エビの刺身春に酔ふ 雅俊

薰風や季に添ふ和菓子銘ゆかし 晴代

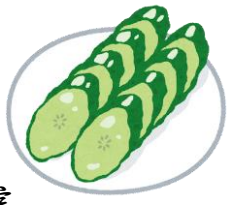
音もなく飛び交う螢闇匂う 雅俊

ででむしやだんだん手間の身ごしらえ 晴代

短パンにセル着て風通すなり 雅俊

寄りひらりおはしきのごと熱帯魚 晴代

「秋」 八月



にわか雨森林鉄道夏涼し 信

ややこしき話のあとや胡瓜もみ 晴代